



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第96号 発行日/2009.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

百年塾フェスタをきっかけに新たな連携を模索

ひたち生き生き百年塾が目指す「人づくり、まちづくり」の理念を柱に、百年塾フェスタ2009を開催。発足21年目を迎えた百年塾が各種団体や産

業、学校や行政などとの連携や協働を試みた事業成果の発表や展示コーナーを設け、PRに努めるなど百年塾の新たな方向性を探る機会となりました。

支援に力点を

これまで、各種団体等へ百年塾フェスタへの参加を依頼することで、連携しているところでしたが、今年度は、各種団体の活動や発表を支援することにも力点を置いたことや、農業と水産業、商業などを結び付ける試みもされました。

例えば、情報部会では多賀高等学校ボランティア部のユニセフ募金のための活動を応援し、おおせ元気っ子クラブや日立第一高等学校の環境に関する研究成果の再発表、茨城キリスト教大学の人形劇サークルの発表などの場を提供、産業部会では久慈漁港の冷凍庫利用で、規格外の茂宮カボチャの多様な活用への道を開くなどの実験事業の成果発表などが行われました。

これらの活動は、今後の百年塾が目指す連携や協働の方向の一つであり、すでに多様なテーマで活動している各種団体やグループの活動を

支援し、それらをつなぐ仕組みが求められます。百年塾はこの仕組みのコーディネーターとしての役目や、新たな発想での事業組み立て、実験事業の実践などに取り組んでいく必要性が見えてきました。

がんばった高校生ボランティア

今年のフェスタはインフルエンザの大流行があって、中・高校生ボランティアの参加が難しくなりました。



子どもに人気のキャンドルづくり

そのような状況の中、多賀高等学校と明秀学園日立高等学校の生徒たち12名がボランティアとして参加、

大活躍をしました。

ユニセフ募金のためにエコパック・エコキャンドルの製作と販売をした多賀高校の女子生徒たちは、そのできばえの良さが好評で、フェスタ開始から終了までほとんど休む間もなく製作に取りかかっていた。

また、エココーナーを手伝ってくれた明秀学園高校の男子生徒たちは、他のコーナーからも引っ張りだこ。

着ぐるみを来てPRのために会場を回ったりするなど大忙しでした。

疲れた顔も見せず、一日中気持ちよく協力してくれた両校の高校生たち。そのはつらつとした若いエネルギーがフェスタを盛り上げ、スタッフや来場者の心に爽やかな感動を残してくれました。

エココーナーも成果

フェスタでは、昨年好評だったエココーナーを今年も設置しました。

エコキャップ集めには、昨年を大幅に上回る7万6千個が集まり、95人分のポリオワクチン(800個で子ども1人分)を贈ることができました。

また、エコ川柳のコーナーでは、真剣に作品づくりをする人や、足を止めて一つ一つ丁寧に読む人の姿が多くみられました。ほほえましい子どもの作品も含めて78作品が並びました。

百年塾「PTA広報紙展」に参加しませんか

市内の小・中学校PTAの広報紙を一堂に展示して、PTA活動や成果などを紙面で披露します。百年塾は広報セミナーや出前講座を開き、編集に携わる広報委員を支援しています。期間中は会場で広報相談も実施します。

- とき 平成22年2月9日(火)13時～13日(土)12時まで
- ところ 教育プラザ2階ギャラリーB
- 申込み 12月21日(月)までに百年塾サロン(Tel.23-9165)
(1月25日(月)までに3部を百年塾サロンへ)

それぞれの生涯学習

自分らしく

まちのあちこちには、小さなきっかけで自分の好きなことや関心のあることを見つけて、学んだり楽しんだりしている人たちがたくさんいます。自分のめざす

ものに向かっての活動が、誰かのために活かされ交流の輪を広げています。それぞれの目線で、自分らしくさりげない活動を続けている人たち取材しました。

ドッジボールがつなぐ絆

日立市子ども会育成連合会によるソフトボールとドッジボールの球技大会。石井直子さんは、10年間にわたりドッジボールの審判員として活躍しています。

審判員は現在63名が登録されており、ルール講習会や実践指導、練習試合などで休日も放課後も大忙しです。4月から8月までのシーズン中約4ヶ月間、市内19小学校の試合には10名ほどで出向きます。

今年8月、13チームが参加した小学生の部ドッジボール中央大会は『成沢太陽子ども会』が優勝しました。ここは石井さんのお膝元。昨



颯爽とした審判姿

年の3位をばねに子どもたちと「今年こそは」と練習に励んできました。

石井さんは「ドッジボールが異なった年齢の子どもたちをつないで

います。同じ目標を持って集まってくる子どもたちは下級生の面倒を見ることを忘れず、もっと上手になりたいと生き生きしています」と。また、「大人が子どもに教えなければならぬあいさつや他チームへの気遣いなどを自然に指導することになり、それを若いお母さんたちが受けつないでくれることが嬉しい」と話します。

市内あちこちに出向くことで声をかけられることも増えたそうです。審判員であることで子どもと地域社会の橋渡しができればと、新たな子どもたちとの出会いを楽しみにしています。

おくりびとの一員に

日立電鉄交通バスを運転して45年、佐藤栄さんは今年9月に定年を迎えました。現役時代は、高齢者のもとより乗客一人一人に心配りをし声をかけることで有名でした。

佐藤さんのこうした乗客を大切にしている精神は、昭和40年代初めの入社当時、車掌として乗降客に接しているうちに学んだそうです。運転者として勤務するようになってからは、障害を持つ人たちに安心してバスを利用してもらいたいと、ヘルパー2級を取得しました。休日には、ボラ

ンティアとして、障害者の人たちのサークルや高齢者の福祉施設で活動。昨年は県の福祉協議会から表彰を受けました。

定年から2ヶ月、現在佐藤さんは霊柩車のドライバーとして新たな人生を歩み出しています。老人施設等から勤務の誘いがあったそうですが、佐藤さんは葬儀社を選択しました。「歳をとるのは誰もがいづれ通る道。



休日は福祉のボランティア

介護のボランティアをしながらそのお手伝いと思っていましたが、さらにその先（最期）のお手伝いがあることに気付き『おくりびと』の一員にと思いました」と話します。「亡くなられた方はもとより、ご遺族のためにも心をこめてお送りしたいと思います」と。

1997年の「ひろば33号」に「やさしさを運ぶ人」として登場した佐藤さん。人を思いやるその優しさはさらに広く深くなっています。

募集「地域における子ども行事」を支援します！

百年塾学校部会では、青少年育成推進会議、単位子ども会または各種ボランティア（子ども育成のための支援）などを対象に、子どもを中心とした地域での行事や活動を支援します。より活発な活動に発展することを願っています。

■支援内容：人材の情報提供、活動のお手伝いなど。

■締め切り：平成22年1月中旬
※応募数にまだ余裕があります。気軽にお問い合わせや応募をください。

※詳細などお問い合わせは百年塾サロン（TEL 23-9165）まで。

今年度「地域における子ども事業」の支援に応募した会瀬地区の「おおせつ子サロン」では、会瀬交流セン



「理科って楽しいね」子どもたち

ターに日立理科クラブを招いて楽しく学習しました。

楽しく さりげなく・・・

見てもらえることが喜び

日立市郷土博物館の自主グループ「郷土史を学ぶ会（代表：高橋功昌さん）」は、平成13年、県立歴史館の内山俊身さんの講座「埋められた銭の謎」を聴講した人たちが郷土



地道な活動が博物館を支える

史に強い関心を持ち、自ら調査を始めたことがきっかけで発足しました。会の名前は「古銭調査会」でした。

7人のメンバーは一括埋蔵銭がある東河内町で約1年半にわたって調査。3657枚を確認し、その調査内容を歴史館に報告しました。

平成15年からは常陸大宮市民俗資料館の石井聖子さんの「絵馬のはなし——板絵にかけの願い」を受講。

絵馬が通常見慣れているものとは異なった大きなものであることなどを学び、「絵馬調査会」として2年がかりで111の寺社を巡り308枚の絵馬を調査しました。

平成17年からは、「日立の出路三山（月山・大室山・御岩山）」ガイドマップの作成や、収蔵資料展・特別展などにも着手しました。

『エコ川柳』応募作品 ※今年のフェスタで高得票の作品です

- 電気はねいつもママに消されてる (小3 北嶋野乃華)
- 三人で見るばん組を一つにし (小3 くじらおか禎子)
- 小さなえんぴつさいごまでつかうきねんひん (小3 マサ)
- ぶんべつはちきゅうのことを考える (小2 双葉)
- エコバック地球にやさしい買い物ぶくろ (小4 マッキー)
- ゴーヤ植え成るは成るはで日陰なす (グリーンカーテン)
- 日本より世界に広がるモッタイない (H・N)
- あの頃を思えば楽しエコ生活 (たかし)
- 生ゴミを土に返してエコ暮らし (M&U)
- エコじいじエコラエコラ歩いてこ (末山)

平成19年からは「郷土史を学ぶ会」とし、博物館の地下収蔵品の整理や登録、ふるさと探訪などの活動を行っています。

現在メンバーは10人。歴史を学ぶ楽しさは勿論ですが、博物館の地下に眠る収蔵品の一つ一つを丁寧に整理することや、展示されたものを来館者が見てくれることに大きな喜

おはなしおばさん大人気

毎週木曜日の午後3時30分から鳩山交流センターで、「おはなしひろば」を主宰する村田敬子さん。紙芝居や絵本の読み聞かせのほか昔の遊びやゲームなども取り入れ、毎回異なったプログラムを用意して放課後の子どもたちを待ちます。子



目をかがやかせて聞き入る

どもたちには大人気です。

「保育士として幼稚園児を見ていた当時から、子どもたちには情緒豊かに育ってほしいと思っていましたが、育児で仕事を離れても、ずっと気持の中がありました。子どもたち

びを感じているそうです。

郷土博物館の市民企画展示

写真展「ズリ山の記憶」

～日立市十王町 櫛形炭坑～

■2010年

2月10日(水)～4月11日(日)

■日立市郷土博物館2階ギャラリー

■観覧無料

■電話 23-3231

はお話しが大好きです」と村田さん。

語ることを学ぶために遠野や宮沢賢治の故郷などを訪ね、茨城県立図書館の「読み聞かせ研修講座」初級や中級を受講するなどしたことが自信につながったと言います。現在は4名の仲間と一緒に活動中です。

心なごむまちかどギャラリー

石名坂団地の中に楽しいスポットがあります。

Y・Mさんのお宅の駐車スペースに並ぶ陶器のオブジェに、思わず足を止めて見入ってしまいます。

約5年前から陶芸を始めたという



今にも動き出しそうなかわいいオブジェたち

作者のY・Mさんは、「とにかく教室に行くのが楽しい。探求は大切だけど、まずは感動したり楽しんだりしたい」と。とほけた表情の鬼の子や大きな目玉のカエル、今にも踊り出しそうな子ブタなどそのどれもが実に愛らしく生き生きとしています。「お皿や器もいいですがオブジェの方が私には簡単で楽しい。作ることが心の栄養かな」と笑います。作者の温かな心が表れたオブジェが、通る人たちの心をなごませます。



百年塾ひろば

目で見る百年塾フェスタ2009

「百年塾ひろば」を充実させるために、市民の皆さんのご意見や情報をお寄せください。



よくわかるエコ川柳



実験の楽しさを知る



おいしい田舎まんじゅうをどうぞ



フリーマーケットにたくさん集まったお客さん



たごとかほちゃでおいしいスープ



楽しく踊るフラダンスの皆さん



大忙しの明秀学園の生徒たち

平成21年度 ひたち生き生き百年塾

市民教授のつどい

- ◆と き:平成22年2月21日(日) 10:00~15:30
 - ◆ところ:ゆうゆう十王Jホール(駐車場有り)
日立市十王町友部2088-1 TEL(39)7111
 - ◆内 容:市民教授の活動(作品展示、演技演奏発表など)
百年塾の活動報告
- ※入場は無料です。一般の方々も自由に入場できます。
お誘い合わせてご来場ください。お待ちしております。

市民教授(新登録)

2009年7月~11月に登録の方(敬称略)
■今橋知江 多賀町(押し花)

私たちは百年塾運動を応援します(敬称略)2009.8.25~10.31

ブメハナ フラ グループ 八方寿司
日立店 (有)自由工房 日立建設業協
会 (株)山森 (株)ガードケアピース
(株)ゆなご教材舎 多賀中学校 日立
土木(株) 日立南ロータリークラブ
日青ブランド 藤和建设(株) (株)白土
工務店 日立北ロータリークラブ
(社)茨城県日立市医師会 たらふく亭

(株)日立ライブ 日立製作所(株)日立事
業所 鏡徳寺 山田栄一 高橋友子
松井順子 松井昌夫 篠崎多賀男
佐藤春夫 須田久美子 園原愛子
小野節子 土岐京子 高山絹子
須藤元子 鈴木絹代 遊佐常男
木村邦男 大和田稔 萩庭久美子
木村幸子 門馬正和 野崎一 好永

勝江 鈴木重四郎 藤原真由美
後藤登喜雄 後藤恵美子 竹内紀美
子 村田球江 佐藤善祐 朝日道子
桑原洋子 高橋光子
百年塾協賛金にご協力を!
●個人 一口 1,000円
●団体 一口 5,000円
※お問い合わせは百年塾サロンまで